

## 岩手県企業短期経済観測調査結果（2012年6月）

- 調査対象企業は、岩手県内に本社を置く資本金2千万円以上の70社
- 回答率98.6%（回答数69社、うち製造業26社、非製造業43社）
- 回答期間 5月29日～6月29日

### 1. 業況判断指数 (D. I.)

調査対象先の業況判断指数（全産業）は、非製造業の一段の改善を主因に、前回調査時（3月）に比べ、一段とプラス幅を拡大した（前回19→今回25）。

— 全産業指数、非製造業指数は、1991年8月以来21年ぶりの水準を継続。

業種別にやや詳しくみると、製造業では、加工業種の一部（各種機械製造）で海外需要の減少から悪化を示す先がみられたが、建設資材（窯業・土石など）や輸送用機器の好調持続や、沿岸被災企業の着実な生産再開に支えられる形で、全体では前回並みの水準を維持した（前回0→今回0）。

非製造業は、建設関連や卸・小売が好調を続ける中、不動産や運輸も改善を示すなど、復旧復興需要が一段と広がりを見せつつある（前回29→今回40）。

先行きについても、非製造業における現在の活況が当面続くとみられるほか、沿岸被災企業（とくに食料品製造）の生産再開が秋に向けて相次ぐことから、製造業、非製造業ともに足許並みの水準を維持するとの見通し（全産業、9月予測22）。

（「良い」－「悪い」）回答社数構成比、%ポイント、（ ）内は前回予測

	11/3月	6月	9月	12月	12/3月	6月	9月 (予測)
<b>製造業</b>	9	▲25	▲22	▲4	0	0(▲4)	3
素材業種	12	▲50	▲37	▲14	14	29( 14)	43
加工業種	7	▲12	▲16	0	▲5	▲10(▲10)	▲11
食料品	0	50	▲20	0	▲40	▲40(▲20)	0
電気機械	▲25	▲33	▲16	▲16	▲16	▲16(▲33)	▲33
<b>非製造業</b>	▲27	▲23	9	25	29	40( 27)	33
建設	▲20	▲15	26	33	40	47( 47)	34
卸・小売	▲22	▲25	10	50	40	40( 30)	40
<b>全産業</b>	▲14	▲24	▲3	14	19	25( 15)	22

## 2. 売上高・収益（2011年度実績、2012年度計画）

2011年度の売上高は、東日本大震災の影響で、製造業が前年比大幅マイナスとなったことを主因に、全産業でも前年を下回った。

2011年度の収益は、製造業・非製造業ともに、前年に比べ大幅に好転した。

2012年度については、製造業の売上高・収益は、加工業種では円高や海外需要減少の影響から電気機械を中心に不振が続く（とくに上期）一方、素材業種では、沿岸被災企業の復旧進展に加え、復興需要に伴う建設資材の増産もみられ、大幅な増収増益を計画している。

一方、非製造業では、建設関連や卸・小売を中心に、売上高・収益ともに、好調であった前年度をさらに上回る計画。

—— 上段：前年同期比・%

下段（ ）：前回調査比修正率、[ ]：前々年同期比・%

	2011年度 (実績)		2012年度 (計画)					
	売上高	経常利益	売上高			経常利益		
			年度	上期	下期	年度	上期	下期
製造業	▲15.4 ( 0.7)	利益 (6.9倍)	1.2 (▲10.9) [▲14.4]	▲5.9 (▲1.2) [▲21.6]	9.0 (▲18.5) [▲6.2]	5.7 (▲37.7) [利益]	欠損 (赤字転化) [欠損]	4.3倍 ( 20.4) [利益]
	▲20.1 (▲1.0)	欠損 (赤字縮小)	35.2 ( 0.3) [ 8.0]	41.1 (▲1.4) [ 3.5]	30.3 ( 1.8) [12.4]	利益 ( 97.4) [利益]	欠損 (赤字転化) [欠損]	9.2倍 (黒字転化) [利益]
	▲15.2 ( 0.8)	利益 (6.2倍)	▲0.3 (▲11.6) [▲15.5]	▲7.8 (▲1.2) [▲22.8]	7.9 (▲19.5) [▲7.2]	▲5.8 (▲42.0) [利益]	欠損 (赤字転化) [欠損]	4.1倍 ( 8.3) [利益]
非製造業	3.9 ( 0.8)	2.1倍 ( 1.2)	4.5 ( 2.9) [ 8.6]	8.8 ( 5.2) [11.6]	1.2 ( 1.1) [ 6.3]	0.9 ( 3.3) [2.1倍]	▲11.5 ( 24.3) [21.8倍]	7.2 (▲3.6) [ 52.3]
	16.1 ( 0.0)	73.8 ( 5.3)	5.7 ( 2.5) [22.7]	6.6 (11.7) [28.6]	5.2 (▲2.6) [19.3]	4.6 ( 0.4) [81.8]	▲5.5 (黒字転化) [利益]	5.2 (▲12.8) [35.3]
	2.6 ( 1.3)	2.1倍 (▲2.5)	5.4 ( 3.5) [ 8.0]	11.5 ( 3.4) [ 9.1]	0.2 ( 3.5) [ 7.1]	4.5 ( 7.1) [2.1倍]	▲21.0 (▲17.3) [2.3倍]	51.3 ( 49.8) [99.2]
全産業	▲6.3 ( 0.8)	7.5倍 ( 48.6)	3.0 (▲4.1) [▲3.5]	1.2 ( 2.0) [▲7.4]	4.6 (▲8.9) [ 0.2]	2.7 (▲17.6) [7.7倍]	▲85.9 (▲81.6) [▲74.1]	79.8 ( 8.0) [利益]

### 3. 設備投資（2011年度実績、2012年度計画）

2011年度の設備投資額は、東日本大震災に伴う復旧対応投資が、幅広い業種でみられたことを主因に、前年を上回った。

2012年度の設備投資は、高水準の復旧対応投資が続くことを主因に、引続き前年を上回る計画。

これをやや詳しくみると、建設は設備投資に慎重なスタンスを崩していないが、前年度からみられた沿岸被災地における工場等の再建やインフラ再整備の動きが少なくとも年度上期までは引続き活発にみられ、また加工業種では国際競争力強化のための合理化投資もみられる。

こうした動きは、下期にかけて一段落していく姿となっているものの、下期投資計画は、東日本大震災前の前々年度に比べて、なお高い水準。

（ソフトウェア投資を除くベース） ——— 上段：前年同期比・%

下段（ ）：前回調査比修正率、[ ]：前々年同期比・%

	2011年度 (実績)	2012年度(計画)		
		年度	上期	下期
製造業	32.2 (▲5.5)	39.1 (▲3.8) [83.9]	2.1倍 (1.4) [2.1倍]	▲17.7 (▲13.3) [41.4]
素材業種	61.3 (▲22.9)	3.1倍 (16.8) [5.0倍]	22.5倍 (17.0) [9.7倍]	▲89.2 (11.0) [▲70.1]
加工業種	30.4 (▲3.9)	26.2 (▲6.9) [64.5]	62.3 (▲2.3) [74.4]	▲8.3 (▲13.6) [50.0]
非製造業	13.4 (15.9)	▲0.7 (▲0.6) [12.6]	54.7 (▲18.2) [52.6]	▲30.7 (34.1) [▲14.5]
建設	▲31.7 (0.5)	▲35.2 (20.5) [▲55.7]	▲45.3 (0.9) [14.8]	▲16.4 (57.0) [▲74.5]
卸・小売	2.0倍 (29.7)	▲22.8 (0.0) [54.6]	20.5 (▲11.7) [▲5.4]	▲41.6 (13.4) [3.6倍]
全産業	26.3 (▲0.4)	28.0 (▲3.1) [61.8]	93.7 (▲2.8) [99.4]	▲21.8 (▲3.7) [19.4]

以 上

本件に関する問い合わせ先

日本銀行盛岡事務所

TEL : 019-624-3622 (代)

<http://www3.boj.or.jp/morioka/>

(参考1) 各種判断 D.I 指標の推移

—— 回答社数の構成比・%ポイント、( ) 内は前回予測

(1) 需給・在庫・価格判断 D.I. (全産業ベース)

		11/3月	6月	9月	12月	12/3月	6月	9月 (予測)
製商品・ サービス需給	「需要超」—「供給超」	▲23	▲15	▲6	▲8	2	▲1( 1)	▲3
製商品在庫	「過大超」—「不足超」	6	8	▲6	▲3	▲5	▲1( — )	—
仕入価格	「上昇」—「下落」	24	31	24	15	26	15( 32)	15
販売価格		▲15	▲5	▲2	2	1	▲3( 2)	▲12

(2) 生産・営業用設備判断 D.I. (「過剰」—「不足」)

	11/3月	6月	9月	12月	12/3月	6月	9月 (予測)
製 造 業	5	8	▲15	▲15	▲23	▲19(▲23)	▲15
非 製 造 業	5	▲8	▲9	▲15	▲12	▲9(▲21)	▲14
全 産 業	5	▲2	▲11	▲16	▲16	▲13(▲21)	▲14

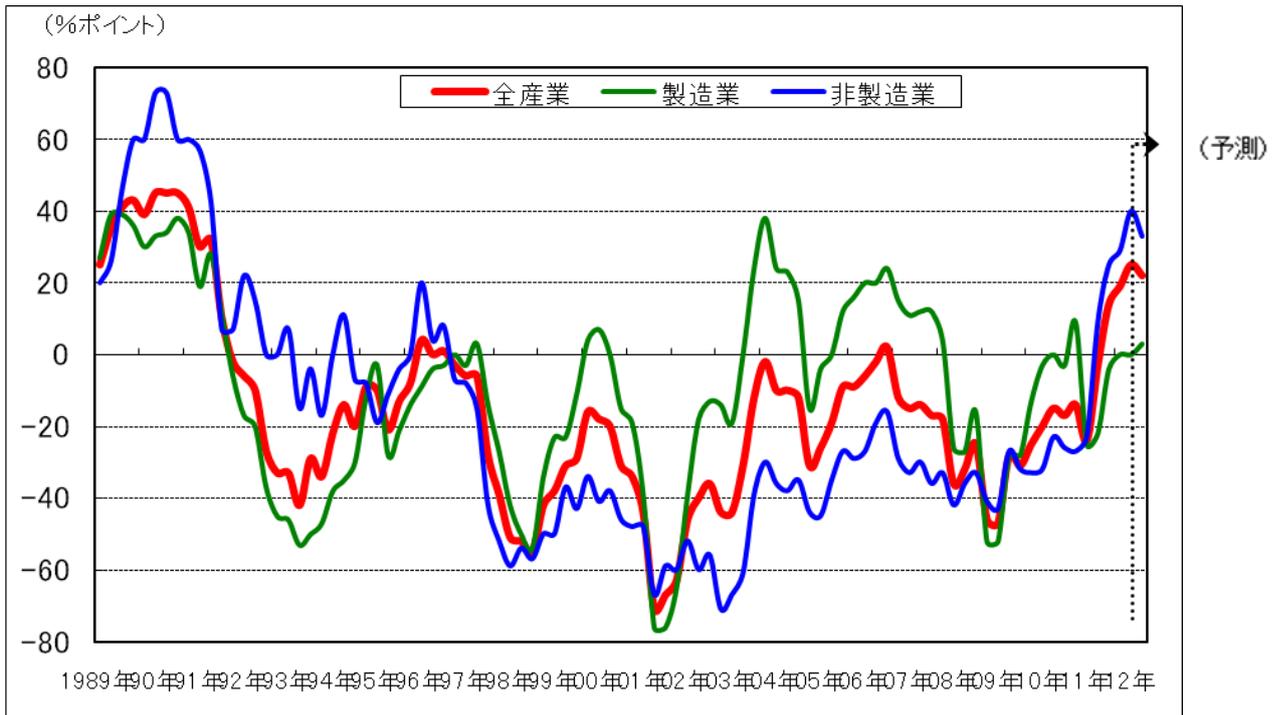
(3) 雇用人員判断 D.I. (「過剰」—「不足」)

	11/3月	6月	9月	12月	12/3月	6月	9月 (予測)
製 造 業	9	25	11	11	0	▲4( 3)	3
非 製 造 業	12	12	4	▲3	▲2	▲2(▲2)	▲7
全 産 業	11	17	7	3	▲1	▲3( 0)	▲3

(4) 企業金融関連判断 D.I. (全産業ベース)

		11/3月	6月	9月	12月	12/3月	6月	9月 (予測)
資金繰り	「楽」—「苦しい」	▲28	▲23	▲15	▲9	▲6	▲4( — )	—
金融機関 貸出態度	「緩い」—「厳しい」	▲10	▲8	▲3	▲3	5	10( — )	—
借入金利 水準	「上昇」—「低下」	2	2	▲3	0	▲8	▲4( 2)	▲1

(参考2) 岩手県の業況判断D. I. の推移



(参考3) 東北地区（6県）及び全国の業況判断D. I. の推移 ( )内は前回予測。

		11/6月	9月	12月	12/3月	6月	9月 (予測)
製造業	全国	▲15	▲5	▲5	▲7	▲8 (▲10)	▲9
	東北	▲19	▲4	1	▲3	▲4 (▲4)	▲5
	岩手	▲25	▲22	▲4	0	0 (▲4)	3
非製造業	全国	▲20	▲12	▲7	▲5	▲3 (▲9)	▲7
	東北	▲22	▲4	5	10	14 (▲1)	2
	岩手	▲23	9	25	29	40 ( 27)	33
全産業	全国	▲18	▲9	▲7	▲6	▲4 (▲9)	▲8
	東北	▲21	▲4	3	5	7 (▲2)	▲1
	岩手	▲24	▲3	14	19	25 ( 15)	22
	青森	▲18	▲4	0	▲1	8 (▲1)	1
	宮城	▲21	3	20	18	16 ( 4)	10
	秋田	▲18	▲10	▲9	▲7	▲5 (▲13)	▲16
	山形	▲22	▲2	▲11	▲6	▲4 (▲11)	▲17
	福島	▲27	▲4	6	12	2 (▲2)	0